

第4章 エネルギーと環境



1 現状と課題

(1)はじめに

練馬区は、気流などの関係で、ヒートアイランド現象の影響をもっとも深刻に受けている区の一つです。気象情報でも光化学スモッグが頻繁に発生し、夏には練馬の気温が都内他地区より高くてびっくりします。冷房なしでは暮らせないとビルや家々はどんどん冷房を使用します。

“暑ければ冷房”と、今わたしたちの生活は、便利で快適になりました。家の中はさまざまな電化製品であふれ、蛇口をひねればお湯が出、外出も自家用車、また、エアコンやテレビ、パソコンが数台あるという家庭さえ少なくありません。その結果電気、ガス、ガソリンなどの使用量が増え、どんどんエネルギーを消費しています。

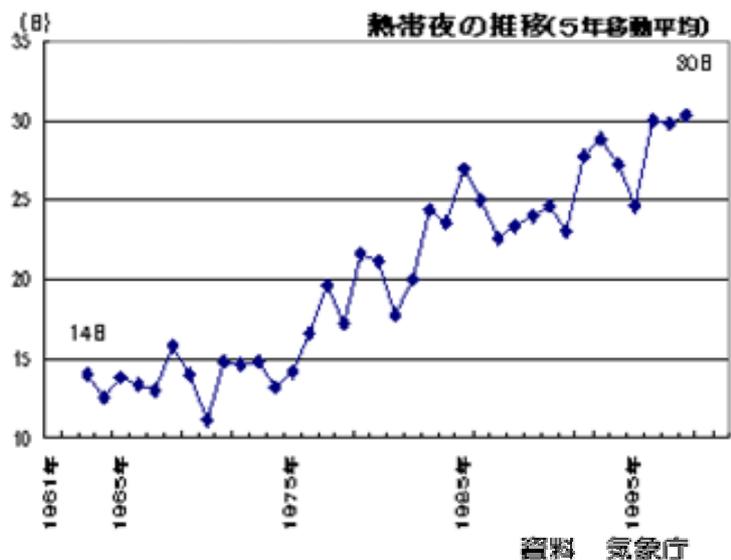
しかし先ほどの冷房や自動車の排熱はどこに行ったのでしょうか？

近年、私たちが住む練馬区は自慢の緑も原っぱも畑もすっかり減って、アスファルトやコンクリートに覆われました。その結果、排熱を吸収するところがなくなり、ますます外は暑くなり、夜になっても気温は下がらず、熱帯夜が続いたりします。その結果、また冷房を使うというように、エネルギー消費の悪循環は続きます。

エネルギーの消費が増えればそのほとんどが石油、石炭、天然ガスなど化石燃料によるものですから、CO₂（二酸化炭素）の排出量を増加させます。このCO₂やメタン、フロンなどの温室

熱帯夜

熱帯のように暑く寝苦しい夜のことです。統計上は最低気温が25以上の日



効果ガスの排出増加は今、地球温暖化という大きな問題を引き起こしています。現実に氷河や南極の氷が溶けだし、異常気象が世界各地で発生し、干ばつ、洪水、熱波などの自然災害が頻繁に起き、生態系にも影響が出ています。



CO₂などの温室効果ガスは、光はよく通すが赤外線（熱）を吸収する。

さらに温室効果ガスが増加すると・・・

温室効果ガス

二酸化炭素のように、熱（赤外線）を吸収しやすく、気温を上昇させる気体のこと。地球の気温を適度に保つ働きをしていますが、多すぎると地球温暖化を招きます。

（財）省エネルギーセンターホームページから

また化石燃料は無限ではなく、原油はこのまま使い続けると、あとわずか40年程度しか持たないと言われています。

すなわち私たちひとりひとりの生活そのものが、地球環境に影響があるということなのです。

(2)地球温暖化とは

地球表面の気温が上昇して気候が変わる現象です。

地球温暖化は、国や地域に限定されず、国境を越え、また現在だけでなく次代にわたって影響がでることから、世界中ですでにいろいろな対策が講じられています。地球温暖化の原因の50%は人間の活動によるエネルギー消費から出るCO₂や一酸化二窒素、ほかの排出によるといわれています。

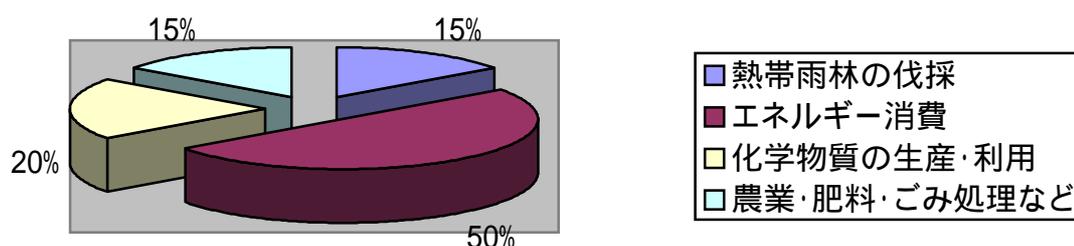
温暖化問題を研究する世界の科学者たちが集まるIPCC(気候変動に関する政府間パネル)が2001年に発表した報告では“過去100年間の温暖化傾向は異常”とし、このまま推移すると取り返しのつかない事態になると警告しています。

100年後には気温は最大5.8℃上昇し、また温暖化により氷の溶解や海面膨張が起こり、海面が最大0.88m上昇するのではと予測されています。海面が1メートル上昇すれば、バングラデッシュのケースでは国土の6分の1が海に沈み、マングローブ林の消失、淡水資源への海水侵入など大きな被害が予測されています。今後は集中豪雨、干ばつ、洪水、熱波、なだれ、

台風などの規模の拡大、頻度の増加も予測されています。

生態系への影響ではすでに多くの事例が報告されていて、農業や漁業への被害、温帯地域でのマラリアの発生や熱中症の増加など健康にも影響を及ぼしています。

地球温暖化の要因



国際 IT 財団編 「地球温暖化防止にあなたの街ができること」より作成

現在の大气中の CO₂ 濃度は産業革命以前の約 1.3 倍となっており、今世紀の終わりまでには 2.5 倍になるといわれています。長期的な地球温暖化対策を進めるためには、先進国が率先して CO₂ 排出削減を実行すべきであることは言うまでもありません

(3) ヒートアイランド現象とは

都市部の気温が郊外に比べて異常に高くなる現象のことで“都市の温暖化”とも言われています。気象図で用いられる等温線を描いた時、都市部が海に浮かぶ島の形に似ていることからこのように呼ばれています。

都市部ではアスファルトやコンクリートで覆われているため、昼間の日射熱が蓄積され、また、エアコンの室外機や自動車などから放出される熱により気温が上がります。しかし樹木や緑地面積が減少しているため、水分蒸発による気温低下がありません。また、上空の大气汚染物質の温室効果、ビルの乱立による通気不足なども高温化の原因となっています。

熱中症などの健康への影響が増加したり、冷房などのエネルギー需要が増大するため、東京だけで夏期に約 29.5 万トンの CO₂ が追加的に排出されていると推計され、地球温暖化への影響も指摘されています。

対策としては屋上緑化や、透水、保水性舗装などが有効です。

(4) エネルギー - の現状

わが国のエネルギー供給をエネルギー源別に見てみましょう。

石油は 52%、ついで石炭、天然ガスの順で、この 3 種の化石燃料で約 80% を占めています。この構成比は 2010 年でも現在とあまり変わりはないと予測されています。(下表参照)

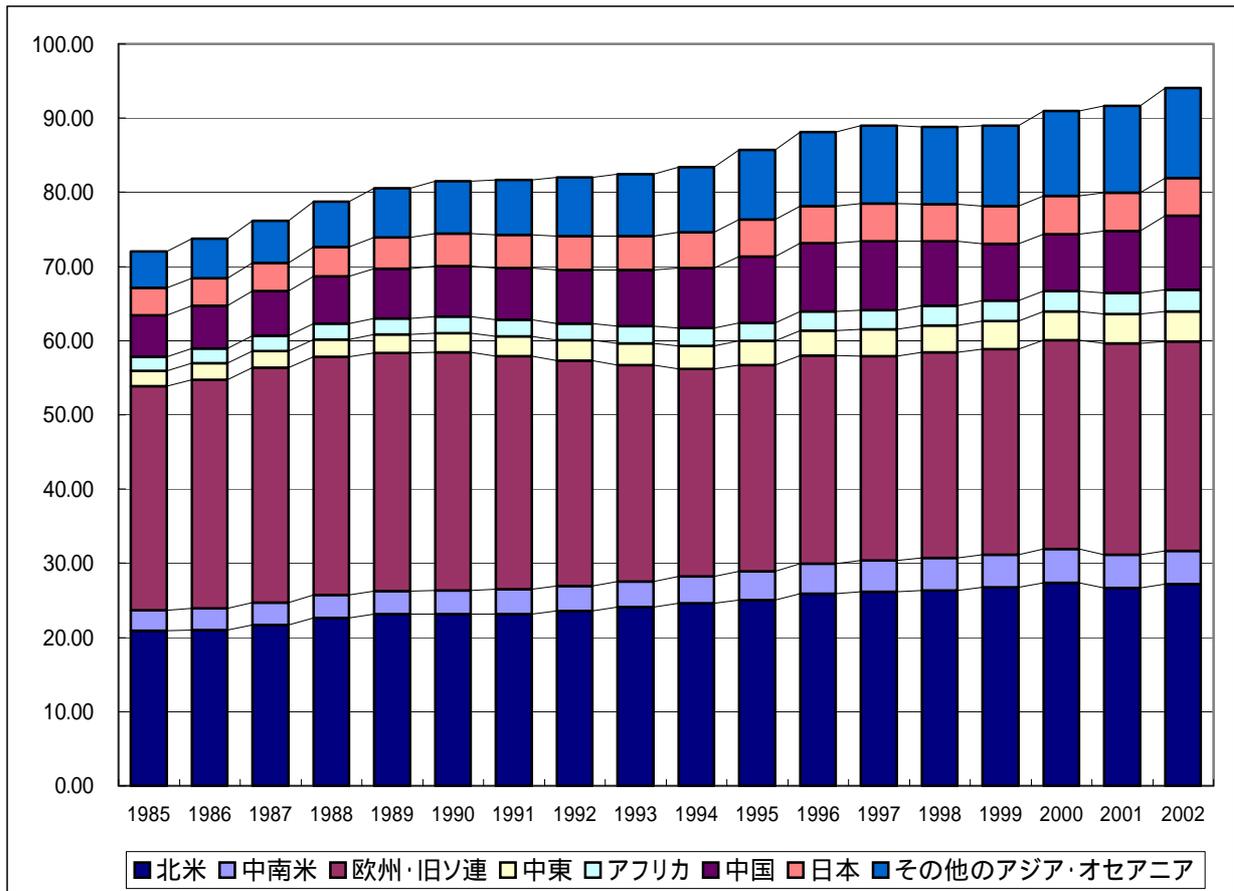
一次エネルギー供給の推移と見通し

	1999 年度		2010 年度見込み		増減%
	実数	構成比	実数	構成比	
総供給量	593		622		4.6
石油	308	52.0	280	45.0	-9.1
石炭	103	17.4	136	21.9	32.0
天然ガス	75	12.7	82	13.2	9.3
原子力	77	13.0	93	15.0	20.8
水力	21	3.6	20	3.2	-4.8
地熱	1	0.2	1	0.2	-
新エネルギー	7	1.1	10	1.6	42.9

(出典 資源エネルギー庁 2001 年) 単位 原油換算百万キロリットル

政府の見通しでは、当分、最大のエネルギー供給源は石油です。石炭は環境面の問題があるのですが、コストが安いため増加が見込まれています。天然ガスは CO₂ の排出が少ないために (石炭を 1 とすると、石油 0.8、天然ガス 0.6) 環境面においても今後需要が増大する見込みです。原子力は、コストと安全面の双方の問題点をかかえ新設される見込みが小さく、2010 年の実数は見込みを下回りそうです。新エネルギー (太陽光発電、太陽熱利用、風力発電、バイオマス燃料等、廃棄物発電など) は導入コストが高いために、なかなか普及までに時間がかかるということで大きく増えることはないと思われています。

世界の一次エネルギー消費量の推移



単位 原油換算億トン ブリティッシュ・ペトロリアム統計 2003 より作成

新エネルギーとは (資源エネルギー庁ホームページより)

「新エネルギー」は、1997年に施行された「新エネルギー利用等の促進に関する特別措置法」において、「新エネルギー利用等」として規定されており、「技術的に実用化段階に達しつつあるが、経済性の面での制約から普及が十分でないもので、石油代替エネルギーの導入を図るために特に必要なもの」と定義されています。「太陽光発電」「太陽熱利用」「風力発電」「廃棄物発電」「バイオマス発電」「温度差エネルギー」「バイオマス熱利用」「クリーンエネルギー自動車」「天然ガスコージェネレーション」「燃料電池」が含まれます。地熱発電、研究開発段階にある波力発電などは、自然エネルギーであっても新エネルギーには指定されていません。

自然エネルギーとは（よくわかる自然エネルギーより）

風力、太陽光、地熱、地下熱、バイオガスなどをエネルギー資源にしているもので「再生可能エネルギー」とも呼ばれています。

長所として・・・ 資源が枯渇しない太陽エネルギーなどをもとにしている。 温室効果ガスや放射能などを出さずクリーン。 小規模、分散型の装置に向いている。

短所として・・・ エネルギー密度が希薄。 自然現象に左右される。

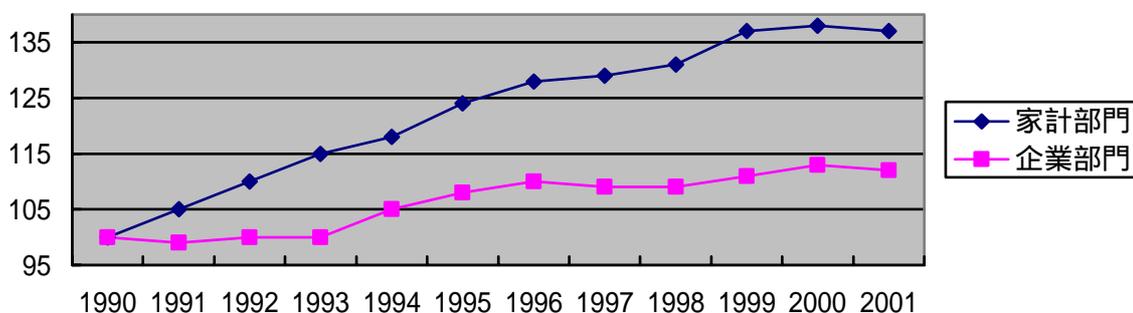
これまで私たちが使用してきたエネルギーの主要部分が、国や電力会社の独占のもとにあり、私たち消費者は、常に受身で対応させられてきました。しかし、自然エネルギーの開発を契機に、私たちが主体となって考え行動する良い機会ととらえ、必要な手段と道筋を提案していくことができると思います。

(5) これまで取られてきた対策

京都議定書と政府の対策

わが国では、1997年12月に京都で開催された気候変動枠組条約第3回締約国会議（COP3）（通称「地球温暖化防止京都会議」）において京都議定書が採択されました。それによりますとわが国は2008年から2012年の間にCO₂排出量を1990年比6%削減することを約束しています。これを受け、政府は1998年に長期エネルギー需給見通しを発表し、その最大の目標として2010年時点でのCO₂排出量を1990年水準に安定化させるとしています。

家計・企業部門別での最終エネルギー消費の推移



家計部門とは家庭生活でのエネルギー消費量と自家用自動車のエネルギー消費の合計

資源エネルギー庁省エネ対策課資料より作成

ところがグラフで明らかとなり、家計、企業部門ともに 1990 年を 100 とした指標では 1990 年水準の安定どころか、大きく増加していることが分かります。企業部門は景気低迷とコスト削減により、ほぼ横ばいになっていますが、家計部門では、ここ数年 1990 年比で 135 以上が続いており、減少傾向とは程遠い状態です。これは自動車保有や冷暖房設備の普及、さらには IT 化が進み高機能テレビやパソコンなどの普及やそれらの機器の待機電力の増加も原因になっています。

東京都の対策

2002 年 2 月、東京都は「地球温暖化防止！東京作戦」を開始。11 月には「都市と地球の温暖化阻止に関する基本方針」として「三つの基本理念と 6 つの挑戦」と銘打ち、都独自の温暖化対策を発表しました。

三つの基本理念（東京都「都市と地球の温暖化阻止に関する基本方針」より）

- 1) 2 つの温暖化（地球温暖化とヒートアイランド現象）の進行を阻止するため、環境配慮が内在化された新たな社会システムを構築する
- 2) 都は、国の施策にのみ頼ることなく、東京の地域特性に応じた独自の温暖化対策を推進する
- 3) 温暖化対策の推進により、東京の経済の活性化を図る

6 つの挑戦（東京都「都市と地球の温暖化阻止に関する基本方針」より）

- オフィスなどの大規模事業所に CO₂ 排出量削減を義務化
 - 新築建築物に対し、より高い省エネルギー性能の達成を義務化
 - 消費者に省エネルギー情報が確実に伝わるしくみづくりを推進
 - 自動車に起因する CO₂ 排出量削減対策を強化
 - 再生可能エネルギーへの利用転換を促進
 - まちづくりと一体となったヒートアイランド対策を推進
- これらの中では、すでに や は議会での審議を経て条例化され、実際に施行されています。

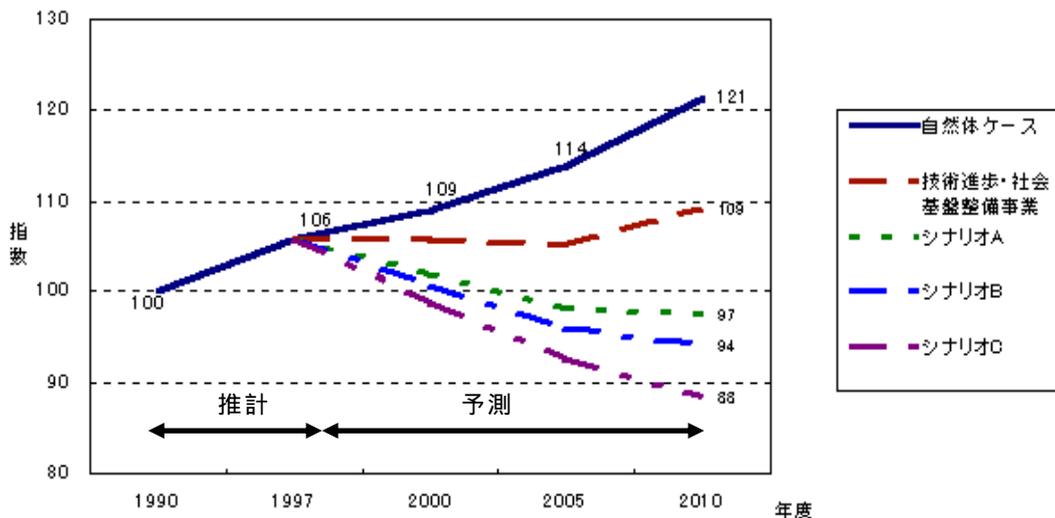
練馬区の対策

私たちの住む練馬区においては、「練馬区環境基本計画 2001 - 2010」が策定され、環境保全についていろいろな施策が講じられています。しかし、太陽光発電設備の設置に対する区による助成等はまだ実現していません。区民の関心も、NEF（（財）新エネルギー財団）の住宅用太陽光発電設備設置助成への応募が年間約 40 件程度で推移していることから分かるよう

に、まだまだ高いとは言えません。実際、区の調査によれば、環境問題全般には関心があるとしながらも、自動車利用の自粛や買い物袋の持参など、利便性を犠牲にしたり、手間のかかる行動をしているという人は必ずしも多くありません。(1998(平成10)年度「区民意識意向調査」)。

また、すでに説明しましたように、練馬区のCO₂排出量は国や東京都と同様に増加しており、このまま推移すると2010年までには1990年に比べて21%も増加すると予測されています。6%削減するという京都議定書があって、21%増加するという事は、目標を達成するためには90年比でいうならばCO₂排出量を27ポイントも削減しなければならないこととなります。

練馬区における二酸化炭素排出量の推計と予測 1990年 = 100



「練馬区環境基本計画 2001 - 2010」から

注)

自然体ケース：省エネ技術等や区民・事業者のエネルギー使用等が予測時点(1997年)と変わらない場合

技術進歩・社会基盤整備事業：省エネ技術等が一定程度進歩した場合

シナリオ A~C：省エネ技術等の進歩に加え、区民・事業者が省エネ等の努力をした場合(努力の程度 (小) A C(大))

2 私たちのめざす取り組み方

(1)基本姿勢

地球規模で発生する環境問題は、経済、社会の発展と密接な関係があります。また、経済や社会は私たちの生活と深く結びついています。そのた

め、日常生活において、私たちひとりひとりが環境への負荷を少なくするよう努力することが、人の命を育む地球上の生態系を維持し、持続可能な社会にしていくことにつながると考えられます。このことを私たち練馬区民ひとりひとりが認識することが最も大切なことなのです。

私たちは、エネルギーと環境問題との調和というテーマに関わる具体的な取るべき姿勢について考えました。その結果は以下の3点、すなわち、今ある、快適で便利な生活を続けながら問題解決に向けていくには、

- * 無駄なエネルギー消費を減らすこと。
- * 効率よくエネルギーを使うこと。
- * 温暖化の大きな要因であるCO₂発生の少ない、再生可能なエネルギーを利用すること。

が必要であるとの結論に達しました。

(2) 基本方針

(1)の基本姿勢のもとで、私たちは、次の3つの基本方針を柱にすえ、区民、事業者、行政のそれぞれが環境に配慮したエネルギー利用を行えるような取り組みを中心に検討を進めました。

- a 節約や我慢ではなく、楽しく継続できる省エネ(無駄を省き、効率の良いものを利用)の普及を進めます。
- b 自然の恵みを活用し、さらに街の活性化にもつながる自然エネルギーを利用します。
- c 環境のことを考えられる賢い消費者を育て、次世代の将来につながる環境教育をします。

最近さまざまな企業が環境に配慮した事業を行い、省エネ製品を創りだしています。自然エネルギー利用の研究開発にもめざましいものがあります。また、さまざまな団体や市民が環境問題を考えて、行動を始めています。このような動きも積極的に取り入れ、地域の活性化につなげていけば、課題の解決に一步ずつ近づいていけるのではと考えています。

私たちは、区民が簡単にできることの提案とこの検討会議の委員が区民とともに行う具体的な4つのプロジェクトを取り上げて、楽しくはじめようと考えています。さらに区に対しては2つの提案をすることにしました。(詳細は、本章各ページの「省エネ こんなことから始めてみよう」と3の「私たちのプロジェクト案と区への提案」を参照)

練馬区から、具体的で効果的な、環境に配慮したエネルギー利用を実践し、拡大していき、地球規模の行動につなげていきたいと考えます。

(3)行動のヒント

省エネルギーや自然エネルギーの利用は、「頭ではわかっているけど、なかなか続かない」と感じる方が多いのではないのでしょうか。そこで、取り組みを楽しく続けるための3つのヒントを提案します。

自分たちで、できることから

大規模な事業の提案や実施は時間、予算、要員などの問題がありなかなか難しいものです。しかし自分たちの生活に身近なことからなら取り組むことができるのではないのでしょうか。

私たち検討会議の委員は、当面、すでに活動しているNPO(非営利団体)や財団、あるいは企業で実績を上げている取り組みを見聞し、協力しながら取り組んでいこうとの結論になりました。

一人ひとりの取り組み方は多種多様で、個々の取り組みの効果も大小さまざまでしょう。しかし、それらが結集すれば、省エネルギーの面で大きな効果をあげるだけでなく、エネルギー政策そのものを直接また間接的に動かすことにつながるのです。ぜひ自分にできることから少しずつ、私たちと一緒に動き出しましょう！

省エネこんなことから始めてみよう

電化製品、買い替え時は省エネ型(省エネラベルのついた)の製品を選ぼう!・・・古い冷蔵庫に比べると最新のは電気代がとてもお得!・・・

やれることから楽しく

練馬区の調査でも、一人ひとりの環境問題に対する意識は高まってきているものの、残念ながら総体としてはまだ行動に結びついていないという結果がでています。また、「わたしは自分の楽しみは十分追い求めたい。そのために結果的に多量のエネルギーを消費しても仕方がない」と思っている方もいるのではないのでしょうか。(例えばパチンコ、ドライブ、ゴルフ、カラオケ、温泉、どれもエネルギー消費とは切っても切り離せません。)

そこで私たちは効果的に省エネ対策を進めるためには、「**やって楽しい！やると得になる！やらないと損をする！**」という仕組みを作ることを提案します。皆さんも楽しく省エネに取り組むとともに、「**やって楽しい得する仕組み**」を一緒に作っていきませんか？

やって楽しく得になるといえば・・・

地域通貨の導入などもできればいいね！楽しいし、省エネした人が得するしね。

省エネこんなことから始めてみよう

近くに行く時は歩きか自転車で行こう！・・・ダイエットにもなるし、第一健康に良い！・・・

親子みんなで

さらに行動のヒントとして、親子一緒に取り組むことが挙げられるのではないのでしょうか。子供と一緒に楽しみながら取り組めるのなら、親にとっても取り組みやすいのではないのでしょうか。(この逆もあります・・・) また、親子で苦心してやり遂げるといふ仕掛けにも参加して、貴重な体験ができ「身につく」ということもポイントとしてあげました。省エネに関する色々なイベントやモニタ - 制度などのプログラムがあります。ぜひ、親子で参加してみてください。環境学習にもなりますし、家族の団らんにもつながります。

こんなのも楽しい提案

<クローバーによる小中学校などへの屋上緑化（親子で体験）>

地域住民が自宅などで育てた 30 cm 四方の苗床にクローバーを青々と育てた後、いっせいに学校などの屋上に持ち寄って緑化するというものです。

省エネこんなことから始めてみよう

使わない電気はこまめに消そう！・・・省エネしてしかも電気代が安くなるよ・・・

数値目標についても考えました

地球温暖化が進み異変が起きているという事は知っているが、実感がありません。まして京都議定書の削減目標が自分たちの生活にどのくらい制約されるのか。そこで省エネについて数値目標を立てると分かりやすいのではと始めてみました。しかし成果をあげるまでには至りませんでした。数値目標をたててから行動を促すのではなく、逆にひとつひとつの小さな行動がどのくらいCO₂削減に効果があるのか、ヒントとして川口市の「市内一斉エコライフデイ」の取り組みを学びました。私たちもできるといいね！

(4)地域での環境情報共有の重要性

練馬区ではすでに環境保全についての、あるいは省エネ推進・新エネ導入についてのさまざまな取り組みが進められています。

家庭向けには、「環境カレンダー」、「環境家計簿」があります。「環境カレンダー」は11年間継続されました。事業者向けには「環境にやさしい事業活動マニュアル」が、その他、「練馬・環境保全推進会議」の環境情報紙「ねかほ」も発行されました(1995(平成7)～2002(平成14)年)。これらの内容は地域に密着した情報が多く、皆さんが環境行動を始めようとする際に役立つはずです。

また、「環境・リサイクルフェア」などのイベント、関町リサイクルセンター・春日町リサイクルセンターは地域住民が多く集まり、さまざまな企画や講座などが開かれています。

これらは、区内・地域での環境に関する情報を得る貴重な場ですので、ぜひ出かけてみてください。またすでに環境保全活動に取り組んでいる皆さんも、仲間を増やしたり、活動を広める場として大いに活用していきましょう。

省エネこんなことから始めてみよう

練馬の野菜や国産品を食べよう！・・・外国や遠くから来るものは多量のエネルギーを使って運ばれています・・・

(5) “練馬ならではの”の取り組みに

地域の特徴を生かしてさまざまな職業、立場の人たちと協働する - これは特に環境教育の取り組みに重要なポイントになります。

練馬ならではのというと畑（大根）がすぐに思い出されますが、この他にもアニメ製作、遺跡や名所旧跡などさまざまなテーマでの協働が可能でしょう。また練馬ではヒートアイランド現象の影響が懸念されていますが、そこにスポットをあて、全国にさきがけて取り組みをはじめるとも練馬ならではのことができます。

省エネこんなことから始めてみよう

車はできるだけやめてバスや電車に乗ろう！・・・1人でなくみんなでエネルギーを使えばCO₂排出も少ないよ・・・

(6) 私たちの集まりを核に事業化、組織化への可能性を見出したい

次項以降に、エネルギー問題を改善していくためのプロジェクト案を提案しています。私たちは作成するだけではなく、実行していく母体になることも念頭において、最終的にこれらのプロジェクト案を決定しました。「誰がこれをはじめめるのですか？」と聞かれたら、「もちろん、計画した私たちです」と答えます。必ずしもそうでなければプロジェクトにならないというのではないのですが、プロジェクトを本気で実施するとすれば、一番わかっている計画者がリーダーシップを取ってやるという原点を大切にしたいのです。

これから私たちは、区民のみなさんに「こんなことをやっているのだけれど一緒にやってみませんか」とお伝えし、どんどん参加を呼びかけいきます。そして、区民から、事業者や区行政との協働へと広げていけば、『まちの活性化』にもつながると考えます。

「課題解決のため私たち委員が取り組みたいテーマ」調査結果

家庭での省エネ・・家庭でできる省エネ推進活動

ヒートアイランド対策・・屋上・壁面緑化、雨水利用促進、太陽光受光で熱を逃がすなど

太陽光発電の促進・・公共施設への率先設置、教育機関への助成強化

風力発電の導入・・試験的導入、教育効果もねらう

廃棄物によるエネルギー利用を実現・・廃プラ他ごみを資源ととらえて回収利用

環境学習・・一般消費者、学校あるいは地域で親子を対象に活動

3 私たちのプロジェクト案と区への提案

以下に、私たちが実行可能な4つのプロジェクトを提案します。(別表参照)

(1)環境行動チェックシートを使用したエコライフデーの取り組み

目的 家庭における省エネ推進

概要 エコライフデーを設定し、省エネなど、家庭で取り組む環境配慮を記載したチェックシートを配布し、各家庭でチェックしてもらって回収します。この結果を集計して、家庭での環境配慮の取り組みの効果等を算出、公表することにより、区民の日常生活における環境配慮を促進します。

例えば・・今日はテレビゲームの時間を一時間減らせた。

今晚も練馬の野菜や国産品の食べ物を食べた、など

省エネこんなことから始めてみよう

室温を、夏は28、冬は20で快適に!・・・これに慣れてしまえば快適でお得・・・

(2)省エネナビ(電気料金表示システム)を使って環境教育

目的 家庭や学校での省エネ推進

概要 モニターを募集して、学校や家庭で省エネナビをつけてもらいます。

エネルギー消費量が目でみてすぐ確認、何が省エネになるかゲーム感覚で判ります。生徒が率先して節電を、子どもたちが親たちに節電を訴えます。

省エネこんなことからはじめてみよう

部屋の明かりは電球から蛍光灯に変えよう！・・・今は電球型蛍光ランプもあるよ・・・

(3)ソーラークッカー作りで環境教育

目的 自然エネルギーの啓発

概要 地区祭や区内イベントで手作り教室を開催します。

発泡スチロール箱を利用した簡単キットで工作。お天気が良ければそれを使って2時間ほどでさつまいもやかぼちゃがほかほかになって食べられます。美味しい臭いがして感激。太陽のエネルギーはすごい！を実感します。



省エネこんなことからはじめてみよう

雨水をためて草花や庭の水まきに使おう！・・・雨水利用でダムはいらなくなるかも。水道代もお得・・・

(4)ペットボトル温水器設置



目的 自然エネルギーの啓発

概要 ペットボトルを回収し学校の屋上に設置します。設置により、夏は真下の教室の室温上昇を防ぎます。(2)

温水の利用も可能です。冬季でも約40のお湯ができます。太陽のエネルギーは冷やすことも温めることにも利用できることを実感します。

省エネこんなことからはじめてみよう

駐車場はコンクリートをやめて浸透性のものもいいね！・・・照り返しもなくヒートアイランド現象にも効き目があるよ・・・

次に、練馬区に2つのプロジェクトの検討を提案します。

(5) ソーラーパネルの設置

目的 自然エネルギーを導入し区内に広げる運動につなげる

概要 公共施設、学校、病院などの屋根にソーラーパネルをつけます。民間には新規設置時に区が補助金を出して支援します。



区立春日町リサイクルセンターに設置された太陽光発電設備

省エネこんなことからはじめてみよう

シャワーやお湯の出しっぱなしには気をつけて！・・・エネルギーの無駄遣いで、水道代やガス代が高くなるよ・・・

(6) 区民が体験し、行動する核となる練馬環境行動モデルハウス(エコハウス)づくり

目的： 省エネ、自然エネルギーの普及啓発と環境教育

概要： 環境に配慮したモデルハウスを設置します。

自然環境豊かな(風通しがよく、緑と土のある)場所に、ビオトープの視点も取り入れて、太陽と風のエネルギーをいっぱいとりこみ、雨水も利用し、自然素材や廃材を用いた省エネハウスを作ります。

企画段階から住民参加(もちろん子どもも)で、建築にあたってでもできるところは地域の父母、子どもたちも参加して作ります。屋上に草を生やしたり、登って遊ぶこともできれば子供の遊び場としても使用します。生ごみを堆肥にして庭で野菜や草花を植えたりしたら楽しいでしょう。地域に根ざした施設として環境学習の拠点とします。

ここで過ごした子どもたち、親たちがエネルギー問題に限らず、さまざまな環境問題に関心を持って、環境行動を起こす拠点としたいものです。

別表 「プロジェクト案と区への提案」一覧

プロジェクト名	目的	概要	対象と行動主体	期間	費用概算
プロジェクト:環境行動チェックシートを使用したエコライフデーの取り組み	家庭での省エネ等の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭でできる環境配慮項目を整理しエコライフチェック表を作成。 ・エコライフデーを設定し、チェック表を区民・児童に配布して、各家庭で各項目の配慮ができたかどうかをチェック ・チェック結果を回収し、環境配慮の状況を分析しその傾向などを公表 ・地産地消(旬の路地栽培野菜は安いうえに、温室栽培の野菜よりもCO₂排出量が少ない)なども含め、チェック項目はエネルギーに限らず幅広く選定 	家族 編集委員と区	製作半年 配布・周知 半年	部数要検討 100万円程度
プロジェクト:省エネナビを使って環境教育	省エネ推進 環境学習	<ul style="list-style-type: none"> ・モニター応募、一般家庭および区内施設選定で設置。 ・エネルギー消費量を逐次目でみて確認、なにが省エネになるのかゲーム感覚でわかる。効果測定も。 ・モニターにメリットを(地域通貨の可能性) 	小中学生および家族 NPO(区民)	モニター期間は1年以内 制度は3年で見直す	1台5万円 100万円程度
プロジェクト:ソーラークッカー作りで環境教育	新エネ啓発 環境学習	<ul style="list-style-type: none"> ・地区祭など区内イベントで手作り教室開催 ・組み立てキットを区が購入、手作り教室で配布製作 ・持って帰って家族・友人も体験できる 	小中学生とその親 NPO(区民)	2年間程度	一回10万円 100万円程度
プロジェクト:ペットボトル温水器設置	新エネ啓発 ヒートアイランド防止 環境学習	<ul style="list-style-type: none"> ・PETボトルを地域で回収、小中屋上に設置、青空教室開催 ・設置により直下の教室の室温上昇を防ぐ(約2℃) ・温水の利用も可能。 ・冬季でも約40℃のお湯に 	小中学生 地域住民	1年間程度	一基10万円 1校200万円

提案名	目的	概要	対象と行動主体	期間	費用概算
提案： ソーラー パネルの 設置	新エネ導入	補助新設を	公共施設、 学校・病院 NPO(区民)	3年間程度	未定
提案： 練馬環境 行動モデ ルハウス (エコハウ ス)の設 置	省エネ・新エネ の普及啓発 環境学習	既存施設に併設も検討 新設のリサクルセンターや農家 の協力を得るなどで	地域住民 事業者・区 NPO/区民	恒久的設置	未定